

## 提言(2)

中・長期対策として

- ・ Routine Immunization (定期接種)

MR2回接種法(平成18年4月より実施)による、  
1期、2期における高い接種率の維持  
目標:95%以上の免疫保有(接種率95%以上)

## 提言(3)

中・長期対策として

- ・ 定期接種(1期、2期)外の年齢層の、感受性者対策 *-catch up campaign-*

定期接種率の低い国においては、年齢幅の広い、接種歴・既往歴を無視した catch up campaign が有効であるが、我が国には馴染まないであろう

現在接種を受けていないあるいは2回目の接種機会がない、小、中、高校生などに対し、  
2回目接種(及び接種漏れ者への接種)機会の設定

例:中1、高3年齢などでの、2回目接種(および接種漏れ者への接種機会)の実施  
5年計画(2012まで)で行えば、中、高年齢および22-23歳までの感受性者がなくなる

大学生年齢以上の感受性者に対する接種の勧奨

従来の90ヶ月まで定期接種から、1期:12-24ヶ月、2期:小学校入学前1年間、に移行した  
ことによる、1期漏れ接種者への対策

\* 移行措置として定期接種扱いとする